



鶏鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「慈しみとまことがあなたを離れないようにせよ。それらを首に結び、心の板に書き記すがよい。」

聖書(箴言3章3節)

牧師 河合裕志

「慈しみとまこと」、これはまず(A)神の私達人間に対する慈しみとまこと、という事。慈しみ(ヘセド)はいろいろに訳される。愛とか憐れみとか恵みとか。聖書の中から神の慈しみを示すものを一つあげればこんながある。「憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、(中略)罪と背きと過ちを赦す」(出エジプト記34章6～7節)。この神の慈しみの延長線上にイエスの十字架が立っている。神は人類の罪を赦そうとして神の独り子イエスを十字架につけて身代りとしたのだから。イエスも神の意志を受入れて進んで十字架についたのだからイエスの慈しみも覚えなければ。

次に「神のまこと」。まこと(エメト)は真実とも訳される。ウソ偽りが無い、約束した事は必ず守る、といった事。たとえば神はメシア(救世主)を遣わすと約束していたがこれはイエス派遣において見事実現した(ガラテヤ書4章4節)。

(B) 今度は私達の他人に対する慈しみとまこと、ということで見たい。まず慈しみについて。「この国には誠実さも慈しみもない。(中略)呪い、欺き、人殺し、盗み、姦淫がはびこり、流血に流血が続いている」(ホセア書4章1～2節)。慈し

みの心があれば人殺し等出来るものではない。大和市における母親の幼児殺し、ロシアのウクライナ侵攻等は無慈悲極まりない仕業。許されるべきではない。むしろ人の命を助け、人に親切をなすことこそ慈しみ深い行為。

「まこと」ではこんな話しが。族長ヤコブが息子ヨセフに言う。「わたしのために慈しみとまことをもって実行すると誓ってほしい。わたしをエジプトに葬らないでくれ」。これにヨセフが答える。「必ずおっしゃるとおりにいたします」(創世記47章29～30節)。これが「まこと」。約束したことは必ず実行するという事。イエスはナタナエルを指して言った。「見なさい。まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い」(ヨハネ1章47節)。神の助けによって少しでもウソ偽りのない、まことの人になりたいもの。

以上慈しみとまことを首に結び、心の板に書き記せ、と。(A)と(B)を肌身離さず、心にしっかりと刻め、と。その位この二つは大事だよ、と。神の慈しみと人への慈しみ、神のまことと人へのまこと、これを忘れずに生きて行きたいもの。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時
子どもの教会：日曜日午前9時
中高青年会：日曜日礼拝後
聖書を学び祈る会：水曜日午前10時
牧師面談：水曜日午後1時～7時